# 平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月7日


上場会社名　株式会社 SUMCO　　上場取引所　東
コード番号　3436　URL　http://www.sumcosi.com/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 橋本 眞幸
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長　(氏名) 澁谷 博史　TEL 03-5444-3915

四半期報告書提出予定日　平成24年12月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年1月期第3四半期 | 160,245 | △18.8 | 9,629 | 50.2 | 7,639 | 519.6 | 160 | ― |
| 24年1月期第3四半期 | 197,246 | △7.4 | 6,409 | ― | 1,232 | ― | △2,110 | ― |

(注)包括利益　25年1月期第3四半期　2,303百万円　(―%)　24年1月期第3四半期　△6,691百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年1月期第3四半期 | △2.23 | ― |
| 24年1月期第3四半期 | △8.19 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年1月期第3四半期 | 462,109 | 174,076 | 33.6 |
| 24年1月期 | 436,420 | 126,773 | 25.1 |

(参考) 自己資本　25年1月期第3四半期　155,108百万円　24年1月期　109,406百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年1月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 25年1月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 25年1月期(予想) | | | | ― | ― |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)現時点において、平成25年1月期の期末の1株当たり配当金については未定です。
(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、サマリー情報3ページの「(参考)A種種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年 1月期の連結業績予想(平成24年 2月 1日～平成25年 1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 205,000 | △17.1 | 11,000 | ― | 8,500 | ― | 1,000 | ― | △0.48 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は添付資料2ページの「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年1月期3Q | 257,751,739 株 | 24年1月期 | 257,751,739 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年1月期3Q | 5,106 株 | 24年1月期 | 4,866 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年1月期3Q | 257,746,813 株 | 24年1月期3Q | 257,747,008 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成25年1月期の期末の1株当たり配当金については未定です。当該予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

当社は、平成24年12月7日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（参考）A種種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| A種種類株式 | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年 1月期 | ― | ― | ― | ― | ― |
| 25年 1月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 25年 1月期(予想) | | | | ― | ― |

(注)現時点において、平成25年1月期の期末の1株当たり配当金については未定です。

【添付資料】

## 添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
（２）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2

２．サマリー情報（その他）に関する事項
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・ P.2

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・ P.6
（３）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・ P.8
（５）重要な後発事象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における半導体用シリコンウェーハ市場は、上半期はスマートフォンやタブレットなどの堅調な需要に下支えされ、300㎜ ウェーハを中心に予想を上回る成長となりましたが、第３四半期になり在庫調整局面に入っております。

当社グループは、本年２月２日に発表しました「事業再生計画」に基づき、ソーラー事業からの撤退、希望退職等の要員施策を実施しておりますが、前述のような事業環境変化のもと、更なる間接費の削減、コスト合理化を実施し、収益の確保を図ってまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高 160,245 百万円、営業利益は 9,629 百万円、経常利益は 7,639 百万円となりました。また、特別損失として希望退職に係る事業構造改善費用 7,263 百万円を計上した結果、純利益は 160 百万円となりました。

（２）連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期に始まった半導体用シリコンウェーハ市場の調整局面は、第４四半期も継続するものと予想しております。このような市場見通しのもと、当社グループでは更なるコスト合理化を推進し、収益の確保を図ってまいります。

なお、平成 25 年１月期の連結業績予想につきましては、以下の通り修正いたしました。

平成 25 年１月期連結業績予想（平成 24 年２月１日～平成 25 年１月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想（Ａ） | 230,000 | 15,000 | 11,000 | 3,000 |
| 今回発表予想（Ｂ） | 205,000 | 11,000 | 8,500 | 1,000 |
| 増減額（Ｂ－Ａ） | △25,000 | △4,000 | △2,500 | △2,000 |

（注）業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、第１四半期連結会計期間から、法人税法の改正（経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律（平成 23 年法律第 114 号）及び法人税施行令の一部を改正する政令（平成 23 年政令第 379 号））に伴い、平成 24 年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

②①以外の会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

連結子会社であるFORMOSA SUMCO TECHNOLOGY CORPORATIONの機械装置の減価償却方法は、従来、定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループは、平成24年2月の当社取締役会にて決議された「事業再生計画」に基づき、半導体用シリコンウェーハ事業の生産拠点の再編に着手していることに加え、同社における増産投資が当連結会計年度中に順次稼働を開始することを契機として、同社が製造する製品の将来需要予測を踏まえ検討した結果、今後はより長期的かつ安定的な設備の活用が見込まれることから、第1四半期連結会計期間より同社の減価償却方法を定額法に見直し、将来にわたり変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,332百万円増加しております。

③会計上の見積りの変更

(有形固定資産の耐用年数の変更)

連結子会社であるFORMOSA SUMCO TECHNOLOGY CORPORATIONの機械装置は、従来、耐用年数を8年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間において「事業再生計画」の各種施策の遂行に伴う生産拠点の再編を契機として、耐用年数を12年に見直し、将来にわたり変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ986百万円増加しております。

(追加情報)会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号　平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月4日)を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年１月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成24年10月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 25,464 | 13,710 |
| 受取手形及び売掛金 | 36,181 | 34,622 |
| 有価証券 | ― | 34,000 |
| 商品及び製品 | 15,530 | 14,452 |
| 仕掛品 | 14,527 | 13,284 |
| 原材料及び貯蔵品 | 47,095 | 75,518 |
| その他 | 12,223 | 9,131 |
| 貸倒引当金 | △116 | △136 |
| 流動資産合計 | 150,906 | 194,582 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 98,568 | 95,688 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 50,619 | 48,767 |
| 土地 | 20,178 | 20,183 |
| 建設仮勘定 | 21,769 | 14,611 |
| その他（純額） | 967 | 812 |
| 有形固定資産合計 | 192,104 | 180,064 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 16,868 | 15,626 |
| その他 | 3,480 | 2,795 |
| 無形固定資産合計 | 20,348 | 18,421 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 897 | 117 |
| 長期前渡金 | 62,051 | 59,136 |
| 繰延税金資産 | 4,893 | 4,785 |
| その他 | 5,572 | 5,354 |
| 貸倒引当金 | △353 | △353 |
| 投資その他の資産合計 | 73,060 | 69,040 |
| 固定資産合計 | 285,513 | 267,526 |
| 資産合計 | 436,420 | 462,109 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度<br>(平成24年１月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(平成24年10月31日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 26,661 | 24,484 |
| 短期借入金 | 95,693 | 124,102 |
| リース債務 | 9,545 | 9,054 |
| 未払法人税等 | 484 | 166 |
| 引当金 | 2,452 | 3,897 |
| その他 | 19,684 | 19,351 |
| 流動負債合計 | 154,521 | 181,057 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 118,298 | 77,961 |
| リース債務 | 11,485 | 4,685 |
| 退職給付引当金 | 18,844 | 18,362 |
| その他 | 6,498 | 5,965 |
| 固定負債合計 | 155,126 | 106,975 |
| 負債合計 | 309,647 | 288,032 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 114,107 | 136,607 |
| 資本剰余金 | 89,291 | 15,676 |
| 利益剰余金 | △82,692 | 13,583 |
| 自己株式 | △8 | △8 |
| 株主資本合計 | 120,697 | 165,858 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 149 | 0 |
| 繰延ヘッジ損益 | 10 | 126 |
| 土地再評価差額金 | 2,671 | 2,671 |
| 為替換算調整勘定 | △14,121 | △13,548 |
| その他の包括利益累計額合計 | △11,290 | △10,749 |
| 少数株主持分 | 17,366 | 18,967 |
| 純資産合計 | 126,773 | 174,076 |
| 負債純資産合計 | 436,420 | 462,109 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年２月１日<br>至　平成23年10月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年２月１日<br>至　平成24年10月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 197,246 | 160,245 |
| 売上原価 | 169,666 | 132,431 |
| 売上総利益 | 27,579 | 27,813 |
| 販売費及び一般管理費 | 21,170 | 18,183 |
| 営業利益 | 6,409 | 9,629 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 44 | 19 |
| 受取配当金 | 41 | 41 |
| 為替差益 | 59 | 300 |
| 固定資産売却益 | 454 | 44 |
| 助成金収入 | 43 | 735 |
| その他 | 232 | 252 |
| 営業外収益合計 | 875 | 1,393 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,881 | 2,451 |
| 減価償却費 | 2,428 | 326 |
| その他 | 742 | 606 |
| 営業外費用合計 | 6,052 | 3,383 |
| 経常利益 | 1,232 | 7,639 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | － | 1,057 |
| 退職給付信託設定益 | － | 319 |
| 特別利益合計 | － | 1,377 |
| 特別損失 | | |
| 事業構造改善費用 | － | 7,263 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 560 | － |
| 災害による損失 | 1,269 | － |
| 特別損失合計 | 1,830 | 7,263 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | △597 | 1,754 |
| 法人税等 | 1,029 | 521 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △1,627 | 1,232 |
| 少数株主利益 | 483 | 1,071 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △2,110 | 160 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第３四半期連結累計期間<br>(自　平成23年２月１日<br>至　平成23年10月31日) | 当第３四半期連結累計期間<br>(自　平成24年２月１日<br>至　平成24年10月31日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △1,627 | 1,232 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △595 | △149 |
| 繰延ヘッジ損益 | △199 | 116 |
| 為替換算調整勘定 | △4,268 | 1,104 |
| その他の包括利益合計 | △5,063 | 1,071 |
| 四半期包括利益 | △6,691 | 2,303 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △5,388 | 701 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △1,302 | 1,601 |

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月26日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成24年4月27日をもって下記のとおり資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行いました。

①資本準備金の額の減少及びその他資本剰余金の額の増加

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。

| | |
|---|---|
| 資本準備金の減少額 | 86,046,254,601円 |
| その他資本剰余金の増加額 | 86,046,254,601円 |

②剰余金の処分

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えております。

| | |
|---|---|
| その他資本剰余金の減少額 | 89,292,248,419円 |
| 繰越利益剰余金の増加額 | 89,292,248,419円 |

当社は、平成24年5月11日にＡ種種類株式の発行に伴う資金が払い込まれたことに伴い、下記のとおり振り替えております。

①増加した資本金及び資本準備金の額

| | |
|---|---|
| 資本金の増加額 | 22,500,000,000円 |
| 資本準備金の増加額 | 22,500,000,000円 |

②減少した資本準備金の額及び増加したその他資本剰余金の額

| | |
|---|---|
| 資本準備金の減少額 | 12,000,000,000円 |
| その他資本剰余金の増加額 | 12,000,000,000円 |

③減少したその他資本剰余金の額及び増加した繰越利益剰余金の額

| | |
|---|---|
| その他資本剰余金の減少額 | 6,823,462,866円 |
| 繰越利益剰余金の増加額 | 6,823,462,866円 |

（５）重要な後発事象

（連結子会社の吸収合併について）

当社は、平成 24 年９月７日開催の取締役会において、平成 24 年 11 月１日を効力発生日として、当社の連結子会社であるジャパンスーパークォーツ株式会社を吸収合併することを決議し、平成 24 年 11 月１日にこれを実行いたしました。

①合併の目的

ジャパンスーパークォーツ株式会社は、当社が 100％出資する連結子会社であり、半導体用シリコンウェーハの製造に欠かせない高純度石英ルツボの製造・販売を行っております。この度、ジャパンスーパークォーツ株式会社を吸収合併し、経営資源の集約と組織運営の効率化を図るとともに、当社結晶成長技術とのシナジー効果を発揮することで、高純度石英ルツボの開発を強化し、高度化する技術要求への対応力向上を図るものであります。

②合併の要旨

ａ．合併日

平成 24 年 11 月１日

（注）本合併は、会社法第 796 条第３項の規定に基づく簡易合併及び会社法第 784 条第１項の規定に基づく略式合併であるため、当社及びジャパンスーパークォーツ株式会社において株主総会による承認を経ずに行うものであります。

ｂ．合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、ジャパンスーパークォーツ株式会社は本合併により解散いたしました。

ｃ．合併に係る割当ての内容

ジャパンスーパークォーツ株式会社は、当社の 100％子会社であるため、本合併による株式の割当て及び金銭その他の財産の交付は行いません。

ｄ．消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債の取扱い

ジャパンスーパークォーツ株式会社は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

③被合併法人（ジャパンスーパークォーツ株式会社）の概要

| | |
|---|---|
| 代表者の氏名 | 取締役社長　佐々木　丈夫 |
| 本店の所在地 | 秋田県秋田市茨島五丁目 14 番３号 |
| 資本金の額 | 300 百万円 |
| 事業の内容 | 高純度石英ルツボの製造・販売 |

④合併後の状況

本合併に際して、当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

⑤会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。

なお、これによる連結業績への影響は軽微であります。

以　上